

学びの広場

地域で学び、活動する
皆さんを応援します
北秋田市教育委員会

- 公民館活動 ●生涯学習
- 文化振興 ●学校 ●スポーツ



若い力による地域活性化をめざせ!

～第1回北秋田市「高校生料理コンクール」～

高校生発案のレシピによる「高校生料理コンクール」が、8月3日に中央公民館で開催されました。この企画は、テレビドラマのモデルにもなった高校生レストラン「まごの店」を運営し、全国一の調理技術を持つ三重県立相可(おうか)高校食物調理クラブと地元秋田北鷹高校家庭クラブとの昨年からの交流を通じ、若い力による地域活性化を目指す取り組みとして、北秋田市で初めて開催したものです。調理室の様子は大画面に中継され、高校生とは思えない手際の良さや包丁さばきなどで参加者の関心を

を集めるとともに、審査後は高校生も入り試食会が行われ、和やかな交流が繰り広げられました。



▲手際よく調理する高校生たち

もし、小学校が避難所になったら

～米内沢小学校「防災キャンプ」～

大地震を想定した米内沢小学校「防災キャンプ」が、学校・PTA・自治会と合同で7月26日、27日に行われました。参加した5・6年生50人は、地域の人たちと一緒にテントの設営や日赤奉仕団の指導による炊き出しを体験したほか、自衛隊第21普通科連隊自衛官から東日本大震災時の人命救助活動や防災の説明、消防署員から消火訓練を受けました。翌日は、千葉県秋津市コミュニティ顧問の岸裕司氏と岩手県船越小学校教諭の坂下大輔先生から講話をいただき、一瞬の判断で生死が分かれた実体験を

聴きながら、自分の命は自分で守ること、災害時こそ地域の連携が不可欠であることを再確認しました。



▲自衛官から説明を受ける児童たち

スイカ割りにも挑戦!

～阿仁公民館主催「わんぱくクラブ」～

阿仁公民館主催の「わんぱくクラブ」が、8月6日に阿仁体育館と阿仁公民館で行われました。阿仁公民館で児童たちは昼食の「ミズかやき」用のミズの皮むきとおにぎり作りを体験したほか、阿仁体育館では児童らと公民館職員、公民館支援ボランティア阿求道会、民生児童委員、いきいきタイム、高校生ボランティア23人が、スマイルボーリングやスカットボールなどのニュースポーツを行いながら、交流を深めました。昼食後はスイカ割りに挑戦し、周りからの指示の

反対方向に進む児童や見事に命中する児童たちに大きな歓声を上げていました。



▲会場に歓声が沸き起こったスイカ割り

合川公民館公開講座

■パソコン初心者講座

パソコン操作の基礎を学びます。

期日 9月16日(火)、18日(木)

25日(木)、30日(火)

時間 18時30分～20時30分

場所 上杉あいターミナル

講師 田中俊夫氏

参加料 1000円(テキスト代)

締切 9月10日(水)／定員 10人

■寄せ植え講習会

さわやかなグリーン観葉リースを作りまします。

日時 9月16日(火) 13時30分～

場所 合川公民館

講師 沢田有子氏

参加料 4900円(花代)

締切 9月10日(水)／定員 12人

■初心者陶芸教室

陶芸の基礎を学びます。

期日 9月13日(土)、27日(土)

時間 14時～16時

場所 ひまわり陶芸教室

講師 湯瀬二美代氏

持ち物 エプロン

参加料 5000円(材料費)

締切 9月10日(水)／定員 10人

※いずれも定員を超えた場合は、抽選となります。



陶芸を体験してみませんか

■鷹巣陶芸教室 石上愛子

手びねりで世界に一つのコーヒーカップを作ってみませんか。

期日 9月13日(土)、27日(土)

時間 9時30分～12時

場所 鷹巣陶芸教室

参加料 5000円(材料費)

締切 9月12日(金)／定員 10人

小勝田館跡見学会のお知らせ

■秋田県埋蔵文化財センター

平安時代の竪穴建物や縄文時代の土器埋設遺構のほか、当時の土器や石器が見つかっている小勝田館を見学して見ませんか。

日時 9月27日(土) 13時30分～15時

場所 北秋田市脇神字館野22

(内陸線小ヶ田駅から徒歩5分)

はまへのうたキッズの募集

■文化係 62・6618

11月1日「第9回浜辺の歌音楽祭」で一緒に歌うキッズを募集します。

練習日時 10月の毎週木曜19時～20時

場所 森吉コミュニティセンター

募集対象 小学校に入学前の子ども

募集期間 9月30日(火)まで

※詳しくはお問い合わせください。

ふるさとの文化財

78

北秋田市指定無形民俗文化財

(民俗芸能)

○「川井駒踊り・奴踊り」

◇所在地 北秋田市川井(合川)

◇管理者 川井郷土芸能保存会

〈内容〉

現在の踊りは、豊作祈願、先祖供養、敬神崇祖の伝統行事として今日まで脈々と継承されてきたものです。

〈起源〉

起源は明らかではありませんが、佐竹氏が常陸(現茨城県)から秋田へ転封になったとき、武士の士気を高めるために、家臣が道中で踊った芸を、江戸中期になり道地村(能代市)藤原家から伝授され、現在に至っているとの言い伝えがあります。

また、駒踊りは藤琴(藤里町)から、奴踊りは鶴形方面(旧能代市)から伝わってきたという説もあります。

〈構成〉

大行列、棒術、獅子舞、奴踊、番楽、万歳と多様でしたが、現在はほとんど伝承されず、奴踊りは4番だけとなっています。



▲川井駒踊り